

三月議会はじまるー共産党の主張が生かされるー 市民の「いのち」を守る消防職員10人増の議案！



改選前最後の議会が始まりました。大府市が出してきた議案や4月からどのような中身で税金が使われるかの具体的な議論は各委員会で行います。今号は議会の初日の質疑を報告します。

大府市の現状 「国の基準に満たない 消防力」

①消防署所が不足！

消防署や出張所の数は、人口などによって国の基準で決められ、大府市の場合3



力が必要ですが、現在は本署と共長出張所の2カ所です。3カ所必要だとする人口約6万人、大府市ですすでに30年前に超えています。「消防署」は市民の安心安全のために、また災害時のためにも必要不可欠です。消防署から遠い吉田・森岡の地域に出張所を設置し、早期に国の基準を満たすことが重要です。

②消防職員も不足！

消防職員の数は、各市町の条例で定数が決められており、大府市では95人。国の基準の152人を大きく下回ります。さらに、職員募集をしても途中で退職したり、定年退職による職員減があったりと、条例定数は95人ですが、ここ数年は95人を大きく下回る事が多く、職員が不足したままです。

③非番の招集が常態化!?

こういった消防職員の不足で、本来、大きな事故や大震災などで、やむを得ず仕事を終えた職員を呼び出す「非番招集」が大府市では日常的に行われています。平日の昼間は、日勤者が対応するなど職

員の工夫や努力で減ってきたものの、夜や土日祝日は常に呼び出され、体が資本である消防職員の労働環境は劣悪になっています。

予算についての質問

3月議会の議案の一つとして、消防職員の条例定数を95人から105人へ増やす議案が出されました。これまで、市民のいのちを守るために、日本共産党が求めてきたことです。より良い中身となるよう次の質問を行いました。

久永議員質問

消防職員10人増に向けての休憩室などの環境整備状況はどのような計画か。

答

10人増ではあるが、救急車1台分(3人乗車の3交代)の増員であり、職員も徐々に増やしていくため、現状で間に合うと考えている。

久永議員

この5年、10年で経験を持った職員が退職し、若い職員体制となる。10人増やしても実際に仕



事を任せられるには3年以上かかるので、退職した職員のスキルをおおいに活用していかなければ、質の向上を保てないと考えるかどうか。

答

退職した職員には、経験を生かし消防関係に携わってほしいと声をかけているが、様々な要因により難しい現状がある。

久永議員

これまでも大府市が自ら決めた条例定数さえ維持することができずにきている。病欠、産休育休の補充をしていくなど、105人の定数に近づけるための努力が必要。年度途中での採用をするなどして定数を維持する考えはないか。

答

今のところ、年度途中での採用は考えていない。

無料法律生活相談

〓弁護士が対応します〓

今回は3月11日(水)

午後6時半〓

どんなことでもお気軽に、いつでもお電話ください。

- 山口広文 (47) 3774
- 久永かずえ (44) 3245
- 森山まもる (44) 0205
- 細川ゆうじ (47) 6027